

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公表番号】特表2015-520193(P2015-520193A)

【公表日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-045

【出願番号】特願2015-516220(P2015-516220)

【国際特許分類】

C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	15/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/545	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	14/575	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	38/27	(2006.01)
A 6 1 K	38/22	(2006.01)
A 6 1 K	38/43	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 P	7/10	(2006.01)
A 6 1 P	5/10	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 N	15/00	Z N A
C 0 7 K	14/545	
C 0 7 K	14/47	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 0 7 K	14/575	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	37/36	
A 6 1 K	37/24	

A 6 1 K	37/465	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 P	7/10	
A 6 1 P	5/10	

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月2日(2016.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの活性タンパク質に結合したムチンドメインポリペプチドを含む融合タンパク質であって、前記ムチンドメインポリペプチドがタンデムリピート単位当たり少なくとも8個のアミノ酸長のタンデムアミノ酸リピート単位を少なくとも2個持ち、前記活性タンパク質がIL-1Raおよびエキセンジン-4またはそれらに対し少なくとも85%のアミノ酸配列の同一性を持つ任意のアミノ酸配列相同物から選択され、かつ前記融合タンパク質の半減期が、前記ムチンドメインポリペプチドに融合されていない対応する活性タンパク質と比較して2倍増加している、融合タンパク質。

【請求項2】

半減期の増加が、同程度の治療有効量の前記融合タンパク質および前記治療活性タンパク質のそれぞれを対象に投与した後に血中濃度を測定することによって決定される、請求項1に記載の融合タンパク質。

【請求項3】

さらに、前記ムチンドメインポリペプチドと前記活性タンパク質との間にリンカー配列を含む、請求項1に記載の融合タンパク質。

【請求項4】

MUC1、MUC2、MUC3A、MUC3B、MUC4、MUC5AC、MUC5B、MUC6、MUC7、MUC8、MUC9、MUC11、MUC12、MUC13、MUC15、MUC16、MUC17、MUC19、MUC20、およびMUC21からなる群から選択されるMUC遺伝子によってコードされるムチンドメインポリペプチド配列の全てまたは一部を含む、請求項1に記載の融合タンパク質。

【請求項5】

4~25個のタンデムリピートを含む、請求項4に記載の融合タンパク質。

【請求項6】

総残基が32~200個のムチンドメインポリペプチドを含む、請求項1に記載の融合タンパク質。

【請求項7】

請求項1に記載の融合タンパク質をコードするポリヌクレオチド配列を含む単離された核酸。

【請求項 8】

請求項7に記載のポリヌクレオチド配列を含む発現ベクター。

【請求項 9】

さらに、前記ポリヌクレオチド配列に作動可能に連結された組換え調節配列を含む、請求項8に記載の発現ベクター。

【請求項 10】

請求項9に記載の発現ベクターを含む宿主細胞。

【請求項 11】

請求項1に記載の融合タンパク質および少なくとも1つの薬学的に許容される担体を含む医薬組成物。

【請求項 12】

配列番号 2 4 の配列の 1 ~ 2 2 4 のアミノ酸またはそれらに対して少なくとも 8 5 % のアミノ酸配列の同一性を持つ任意のアミノ酸配列相同物を含む、請求項 1 に記載の融合タンパク質。

【請求項 13】

前記活性タンパク質が I L - 1 R a またはそれに対して少なくとも 8 5 % のアミノ酸配列の同一性を持つ任意のアミノ酸配列相同物である、請求項 1 に記載の融合タンパク質。

【請求項 14】

前記融合タンパク質の見かけの分子量が、前記融合タンパク質の計算された分子量よりも高い請求項 1 3 に記載の融合タンパク質。

【請求項 15】

前記タンデムアミノ酸リピート単位がヒトムチン (MUC) タンパク質のタンデムリピート単位を含む、請求項 1 3 に記載の融合タンパク質。

【請求項 16】

前記タンデムアミノ酸リピート単位が、配列番号 2 0 またはそれに対して少なくとも 8 5 % のアミノ酸配列の同一性を持つ任意のアミノ酸配列相同物を含む、請求項 1 3 に記載の融合タンパク質。

【請求項 17】

前記融合タンパク質が、配列番号 1 の 1 ~ 2 0 0 のアミノ酸またはそれに対して少なくとも 8 5 % のアミノ酸配列の同一性を持つ任意のアミノ酸配列相同物を含む、請求項 1 3 に記載の融合タンパク質。

【請求項 18】

前記融合タンパク質が、配列番号 3 の 4 ~ 2 4 5 のアミノ酸またはそれに対して少なくとも 8 5 % のアミノ酸配列の同一性を持つ任意のアミノ酸配列相同物を含む、請求項 1 3 に記載の融合タンパク質。

【請求項 19】

前記融合タンパク質が、配列番号 5 の 4 ~ 2 8 3 のアミノ酸またはそれに対して少なくとも 8 5 % のアミノ酸配列の同一性を持つ任意のアミノ酸配列相同物を含む、請求項 1 3 に記載の融合タンパク質。

【請求項 20】

前記融合タンパク質が、配列番号 7 の 4 ~ 3 3 5 のアミノ酸またはそれに対して少なくとも 8 5 % のアミノ酸配列の同一性を持つ任意のアミノ酸配列相同物を含む、請求項 1 3 に記載の融合タンパク質。